

2026年6月4日

報道関係各位

株式会社OKB総研

## 「OKB景況指数」2026年6月期調査報告

OKBグループのシンクタンク(株)OKB総研(大垣市郭町2-25 社長 小川 真二)は、3ヵ月ごとに「OKB景況指数」を公表しております。このたび、2026年6月期調査報告を取りまとめましたのでご案内します。

### 調査結果要旨

景気の水準	景気全般は▲18.6(前回比▲18.6)と前回調査から大幅に低下。中東情勢の混迷に伴う原材料価格高騰などにより、企業業績や生産活動を中心に弱含み。
景気の方角	3ヵ月後の景気は悪化の見通し。個人消費、生産活動、設備投資、企業収益において減少を見込む。
追加調査	『中東情勢の影響に対し警戒感が高まっている』と回答した支店長は98.7%。製品の受注・売上減少についても9割が「懸念が高まっている」と回答。仕入価格・資金繰りに関する相談や調達先・経営戦略見直しについても動きが出ているとの実感あり。中東情勢の影響を特に受けそうな業種は建設業とプラスチック製品製造業。

### OKB景況指数とは・・・

#### OKB大垣共立銀行の支店長を対象に3ヵ月ごとに調査を実施

東海3県にあるOKB大垣共立銀行の支店長を調査対象としている点が大きな特徴。銀行の支店長は、地域の企業活動や個人の景況感を総合的に捉えている。幅広い視点から地域の景況感を把握するには、銀行支店長への調査は有効な方法となる。

#### 県域より狭い地域の景気の水準と方向を集計

「名古屋」、「西尾張」、「西濃」など、県域より狭い地域の景気水準を表す指標を公表している。

(注) 東海3県の当該県域全体を対象としない(OKB大垣共立銀行の支店所在地エリアが対象)。

資料配布場所：名古屋証券取引所・金融記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ

【本件に関する問合せ先：OKB総研 調査部 中澤・梅木 TEL: 0584-74-2615 FAX:0584-74-2688】

# OKB景況指数（2026年6月期調査報告）

## 調査概要

- (1) 調査対象 東海3県にあるOKB大垣共立銀行の支店長および法人営業部担当者（99名）
- (2) 調査内容 調査時点の景気水準および3ヵ月後の景気の方
- (3) 調査方法 2026年5月上旬に調査票を配付し、5月下旬までに回収

## 調査結果

**景気的水準：** 景気全般は▲18.6（前回比▲18.6）と前回調査から大幅に低下。中東情勢の混迷に伴う原材料価格高騰などにより、企業業績や生産活動を中心に弱含み。

**景気の方**： 3ヵ月後の景気は悪化の見通し。個人消費、生産活動、設備投資、企業収益において減少を見込む。

	景気的水準(2026年6月期)	景気の方(3ヵ月後見通し)
全地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景気全般は▲18.6（前回比▲18.6）と前回調査から大幅に低下。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・▲65.4と「悪化」超</li> </ul>
	<p>(支店長コメント)</p> <p>ホルムズ海峡封鎖に伴う原油価格の上昇やナフサ不足による原材料高騰により、幅広い業種の取引先において原材料コスト増となっている。一方でコスト増の価格転嫁は競合先の動きも見ながら、慎重に行わなければならない、中東情勢に改善が見られなければ、業績へのマイナスの影響は避けられない。</p>	
県別	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県は▲16.2（前回比▲21.3）、岐阜県は▲22.2（同▲19.0）といずれも前回から大幅に低下。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県は▲73.5と「悪化」超</li> <li>・岐阜県は▲60.8と「悪化」超</li> </ul>
	<p>(支店長コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県では、自動車関連企業は現状堅調に推移。樹脂原料も親会社にて調達できているとのこと。一方で住宅関連企業やナフサ由来の包装資材等を使っている企業では先行き不安要素が大きい。材料や部品の手配で困難な見通しが多い。</li> <li>・岐阜県では、特に建設業において、シンナーなどの建築資材ですでに影響がはじめており、受注に支障をきたす可能性がある。その他、配管工事に必要な接着剤等も供給不安が高まっており、工期が長期化する懸念もある。</li> </ul>	
地域別	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三河、西濃など8地域で前回から低下。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「悪化」超 全地域</li> </ul>
	<p>(支店長コメント)</p> <p><b>【三河地域】</b> 自動車製造業を中心に中東情勢の影響がはじめている。中東向けの輸出の減少や、アルミニウムの価格高騰等の影響が今後の企業業績を厳しくしていく可能性がある。</p> <p><b>【西濃地域】</b> 米国のイラン攻撃によるホルムズ海峡封鎖の影響大。特にナフサ不足等が地元中小企業に与える影響が大きい。物価上昇も吸収できていないのが実情。賃金上昇機運の中、経営陣は固定費増に悩んでいる。</p>	
項目別	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「全地域」を項目別に見ると、「生産活動」は▲6.9（前回比▲9.8）、「企業収益」は▲12.7（同▲11.8）と前回から大幅に低下。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「増加」超 「資金需要」</li> <li>・「減少」超 「個人消費」、「生産活動」、「設備投資」、「企業収益」</li> <li>・「不足」超 「雇用」</li> </ul>
	<p>(支店長コメント)</p> <p><b>「個人消費」：</b>円安の影響で物価が上昇。中小企業では大手ほどの賃上げに追いついておらず、消費は低調傾向にある。小売店の顧客からは、原油由来のゴミ袋や手袋など、中東情勢を起因とする商品在庫不足もあるとのこと。</p> <p><b>「生産活動」：</b>中東情勢の影響で建材価格が全般的に高騰。モノによっては10～40%の値上げ。一部資材は入荷しないものもあり。今後も中東情勢次第で業況不透明感がある。建材不足による工期の延期や受注停止も増加。自動車部品は生産調整の兼ね合いで受注量減少。</p> <p><b>「設備投資」：</b>物価高の影響により設備の金額自体が増加傾向。そのため設備導入を控えている企業が多い。また補助金の活用なども一服していることから今と変わらない状況が続くと考えられる。</p> <p><b>「企業収益」：</b>幅広い業種で中東情勢を起因とするコストアップの影響が出ると予想される。足元ではコストアップに対する価格の転嫁について様子見姿勢の企業が多いため、企業収益は減少が見込まれる。</p> <p><b>「雇用」：</b>採用難が継続。賃上げや労働環境改善等に対応できるかが課題。技能実習生や派遣社員を活用している企業もあるが実務経験者が少なく即戦力になりにくい。小売・サービス業においてはタイミー等のスポットバイトの利用事業者が増加している印象。</p>	

\*（支店長コメント）は、該当エリア・項目の調査結果（水準・方向）と関連したコメントを掲載しています。

### ■指数および算出方法について

- ①「景気の水準」…調査時点における地域の景気の「水準」を示す指数。  
 ②「景気の方角」…景気の「水準」に対して、景気の「方角」を示す指数。

各指数は、最高点が100、最低点が▲100となる。①「景気の水準」を表す「景気全般」の場合、右記の表の通り、各項目の回答にポイントを付与。支店の規模によるウエイト調整を行った上で、地域毎のポイント合計を当該地域の全支店長が「良い」と回答した場合のポイント合計で割り、100を乗じて算出する。

### 地域の景気水準を表す「景気全般」の場合

現在の景気に対して	付与ポイント
良い	2ポイント
どちらかといえば良い	1ポイント
良くも悪くもない	0ポイント
どちらかといえば悪い	▲1ポイント
悪い	▲2ポイント

図表1 OKB景況指数「景気の水準」(2026年6月期)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)
名古屋	▲7.9(▲13.2) ↓	▲13.2(0.0) →	▲7.9(▲18.4) ↓	▲10.5(▲15.8) ↓	▲7.9(▲7.9) ↓	0.0(+5.3) ↑	57.9(▲2.6) ↓
東尾張	▲18.0(▲24.0) ↓	8.0(+6.0) ↑	▲10.0(▲18.0) ↓	▲2.0(▲10.0) ↓	▲12.0(0.0) →	0.0(+2.0) ↑	56.0(▲4.0) ↓
西尾張	▲15.4(▲15.4) ↓	▲11.5(▲7.7) ↓	3.8(▲7.7) ↓	▲11.5(▲7.7) ↓	0.0(0.0) →	▲3.8(▲15.4) ↓	61.5(▲11.5) ↓
三河	▲27.3(▲36.4) ↓	▲18.2(0.0) →	4.5(▲9.1) ↓	▲18.2(▲9.1) ↓	9.1(+9.1) ↑	▲36.4(▲27.3) ↓	77.3(+9.1) ↑
岐阜	▲21.2(▲16.7) ↓	▲6.1(+3.0) ↑	▲1.5(▲3.0) ↓	▲9.1(▲9.1) ↓	▲24.2(▲22.7) ↓	▲4.5(+6.1) ↑	60.6(▲10.6) ↓
西濃	▲21.7(▲30.4) ↓	▲28.3(▲17.4) ↓	2.2(▲8.7) ↓	▲19.6(▲6.5) ↓	▲13.0(▲23.9) ↓	▲23.9(▲2.2) ↓	63.0(0.0) →
東濃・可茂	▲23.7(▲7.9) ↓	▲15.8(+2.6) ↑	▲34.2(▲10.5) ↓	▲2.6(+15.8) ↑	▲21.1(▲13.2) ↓	▲13.2(+10.5) ↑	55.3(0.0) →
飛騨・郡上	▲25.0(▲25.0) ↓	0.0(+25.0) ↑	0.0(+25.0) ↑	25.0(+25.0) ↑	0.0(▲25.0) ↓	0.0(+25.0) ↑	100.0(0.0) →
桑名・四日市	0.0(+16.7) ↑	0.0(0.0) →	▲16.7(▲16.7) ↓	▲16.7(+16.7) ↑	▲16.7(▲16.7) ↓	0.0(+33.3) ↑	50.0(0.0) →
愛知県(4地域)	▲16.2(▲21.3) ↓	▲5.9(+0.7) ↑	▲4.4(▲14.7) ↓	▲8.8(▲11.0) ↓	▲5.1(▲0.7) ↓	▲6.6(▲5.1) ↓	61.0(▲2.9) ↓
岐阜県(4地域)	▲22.2(▲19.0) ↓	▲14.6(▲1.9) ↓	▲8.2(▲5.1) ↓	▲8.9(▲0.6) ↓	▲19.0(▲20.9) ↓	▲12.0(+5.7) ↑	62.0(▲4.4) ↓
三重(1地域)	0.0(+16.7) ↑	0.0(0.0) →	▲16.7(▲16.7) ↓	▲16.7(+16.7) ↑	▲16.7(▲16.7) ↓	0.0(+33.3) ↑	50.0(0.0) →
全地域	▲18.6(▲18.6) ↓	▲10.1(▲0.7) ↓	▲6.9(▲9.8) ↓	▲9.2(▲4.6) ↓	▲12.7(▲11.8) ↓	▲9.2(+2.0) ↑	61.1(▲3.6) ↓

(\*1) 各項目の「今期水準」は5つの選択肢にそれぞれポイントを付与したうえで算出。

例えば「景気全般」は、「良い」に2ポイント、「どちらかといえば良い」に1ポイント、「良くも悪くもない」に0ポイント、「どちらかといえば悪い」に▲1ポイント、「悪い」に▲2ポイント付与。

各回答に付与したポイント合計を、全回答が「良い」とした場合のポイント合計で除して算出。同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

(\*2) ()内の前回比は、前回調査時の各指数からの変化幅を表記。

(\*3) 雇用は「不足-過剰」で算出。プラスは「不足超」、マイナスは「過剰超」を示す。

図表2 OKB景況指数「景気の方角(3ヵ月後見通し)」(2026年9月期見通し)

(単位:%ポイント)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	「良化」-「悪化」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「不足」-「過剰」
名古屋	▲63.2 ↓	▲36.8 ↓	▲52.6 ↓	▲31.6 ↓	▲63.2 ↓	36.8 ↑	21.1 ↑
東尾張	▲72.0 ↓	▲40.0 ↓	▲56.0 ↓	▲44.0 ↓	▲64.0 ↓	40.0 ↑	16.0 ↑
西尾張	▲76.9 ↓	▲30.8 ↓	▲69.2 ↓	▲30.8 ↓	▲30.8 ↓	38.5 ↑	7.7 ↑
三河	▲90.9 ↓	▲18.2 ↓	▲90.9 ↓	▲36.4 ↓	▲54.5 ↓	36.4 ↑	54.5 ↑
岐阜	▲54.5 ↓	▲24.2 ↓	▲42.4 ↓	▲33.3 ↓	▲66.7 ↓	12.1 ↑	18.2 ↑
西濃	▲60.9 ↓	▲17.4 ↓	▲65.2 ↓	▲26.1 ↓	▲69.6 ↓	0.0 →	17.4 ↑
東濃・可茂	▲63.2 ↓	▲26.3 ↓	▲52.6 ↓	0.0 →	▲78.9 ↓	21.1 ↑	10.5 ↑
飛騨・郡上	▲100.0 ↓	▲50.0 ↓	▲50.0 ↓	0.0 →	▲100.0 ↓	0.0 →	50.0 ↑
桑名・四日市	▲33.3 ↓	0.0 →	▲33.3 ↓	▲33.3 ↓	▲33.3 ↓	33.3 ↑	0.0 →
愛知県(4地域)	▲73.5 ↓	▲33.8 ↓	▲63.2 ↓	▲36.8 ↓	▲55.9 ↓	38.2 ↑	22.1 ↑
岐阜県(4地域)	▲60.8 ↓	▲24.1 ↓	▲51.9 ↓	▲21.5 ↓	▲72.2 ↓	10.1 ↑	17.7 ↑
三重(1地域)	▲33.3 ↓	0.0 →	▲33.3 ↓	▲33.3 ↓	▲33.3 ↓	33.3 ↑	0.0 →
全地域	▲65.4 ↓	▲27.5 ↓	▲56.2 ↓	▲28.8 ↓	▲63.4 ↓	23.5 ↑	19.0 ↑

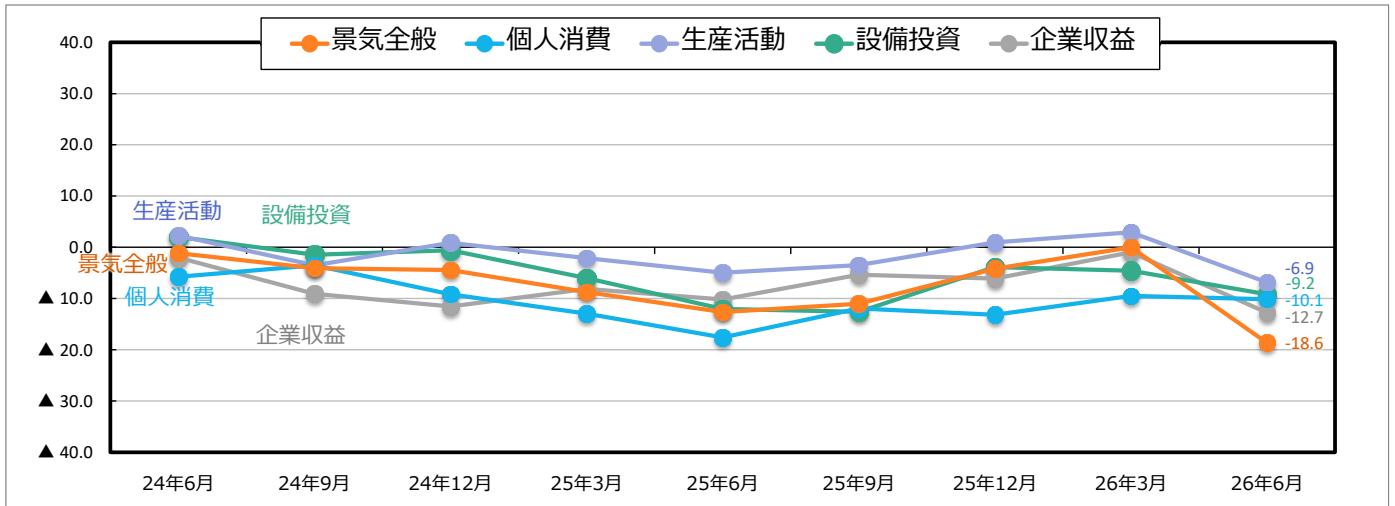
(\* ) 景気全般は、3ヵ月後には景気が今より「良くなりそう」と回答した割合(%) - 「悪くなりそう」と回答した割合(%)

他の6項目は、3ヵ月後には今より「増えそう(不足しそう)」と回答した割合(%) - 「減りそう(過剰となりそう)」と回答した割合(%)

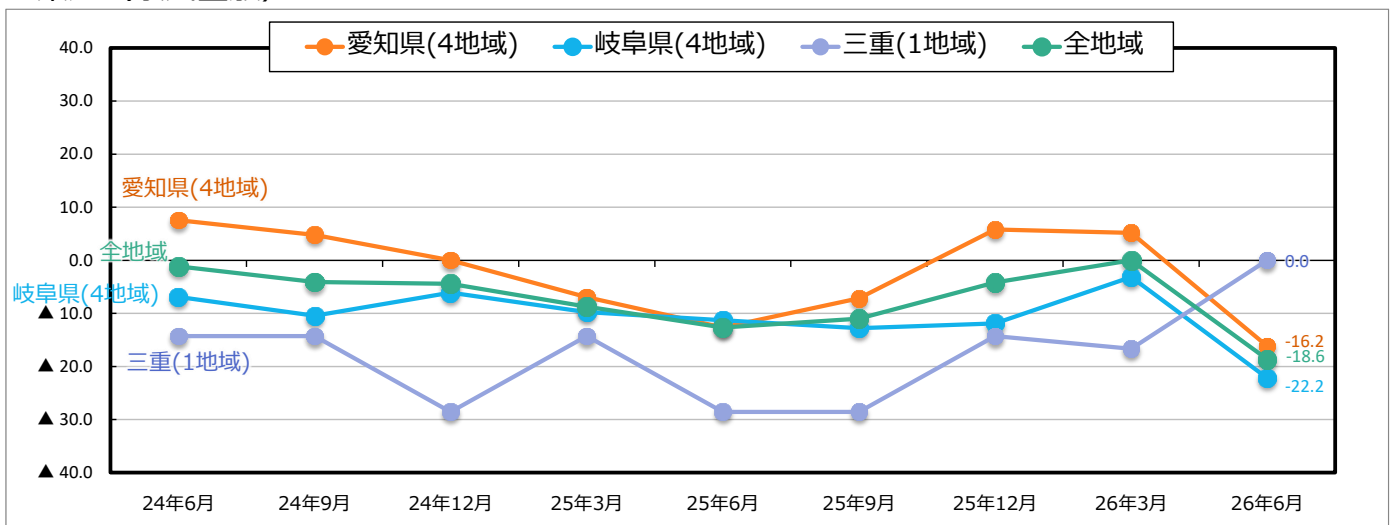
「景気の水準」同様、同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

# 「景気の水準」の推移

## ■項目別（資金需要、雇用を除く）

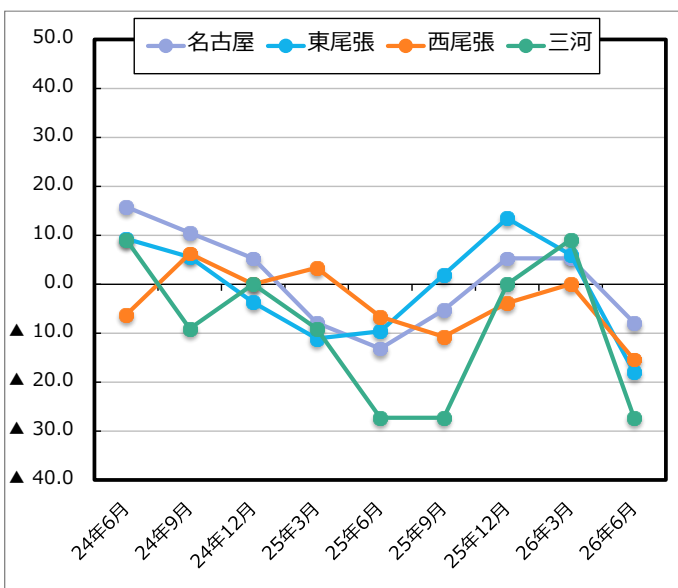


## ■県別（景気全般）

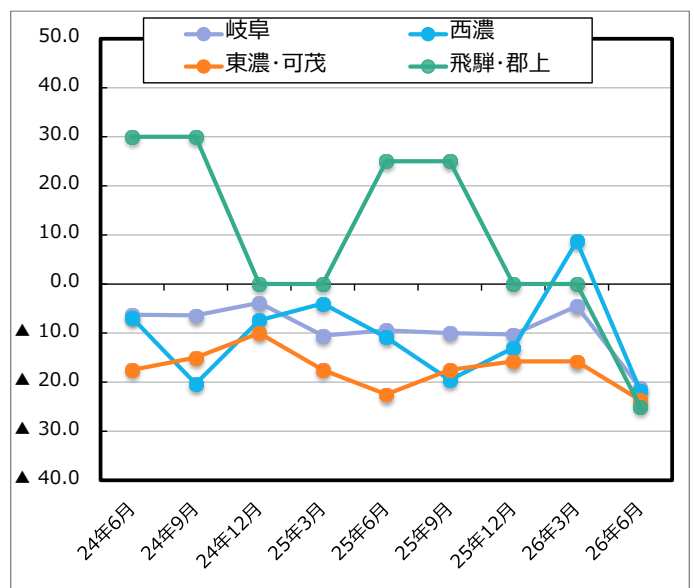


## ■地域別（景気全般）

### ①愛知県内



### ②岐阜県内



## 追加調査 1

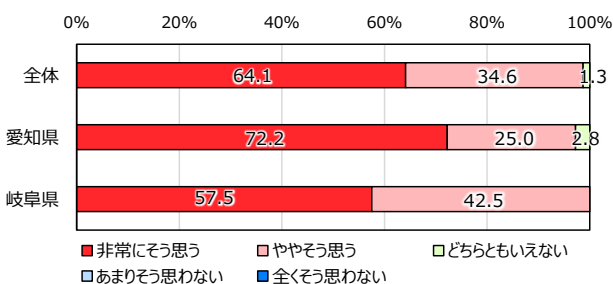
# 「中東情勢の影響」

今回の追加調査では、中東情勢の混迷がエリア内企業へ及ぼす影響について各支店長に尋ねた。

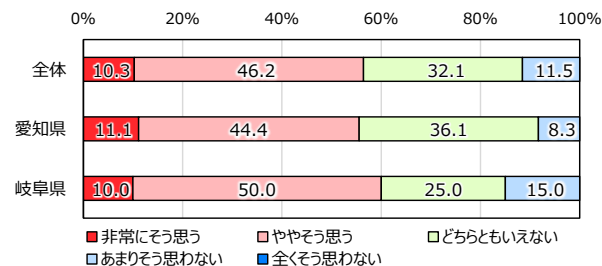
『中東情勢の影響に対し警戒感が高まっている』と回答した支店長は 98.7%。製品の受注・売上減少についても 9 割が「懸念が高まっている」と回答。仕入価格・資金繰りに関する相談や調達先・経営戦略見直しについても動きが出ているとの実感あり。中東情勢の影響を特に受けそうな業種は建設業とプラスチック製品製造業。

- ① 「中東情勢の影響に対し、取引先企業の間で警戒感が高まっている」については、「非常にそう思う」が 64.1%と回答。「ややそう思う」34.6%と合わせると、98.7%の支店長が警戒感が高まっていると回答。
- ② 「中東情勢の影響を受ける可能性のある業種から仕入価格や資金繰りに関する相談が増えている」については、「ややそう思う」46.2%、「非常にそう思う」10.3%と、半数超が相談が増えていると回答。
- ③ 「中東情勢の影響をきっかけに調達先見直しや経営戦略の再検討の動きが出てきている」については、「ややそう思う」43.6%、「非常にそう思う」5.1%と、5 割弱が再検討の動きが出てきていると回答。
- ④ 「中東情勢の影響を受け、製品の受注・売上減少への懸念が高まっている」については、「ややそう思う」48.7%、「非常にそう思う」46.2%と、9 割が製品の受注・売上減少への懸念の高まりを実感。
- ⑤ 「国際情勢の変化による調達コストや物流の不安も課題となりつつある」については、「ややそう思う」52.6%、「非常にそう思う」37.2%と、9 割弱が企業の仕入れや流通に対する不安が広がっていると回答。
- ⑥ 「今後の中東情勢や国際情勢の変化が地域経済に影響する懸念がある」については、「非常にそう思う」53.8%、「ややそう思う」41.0%と、9 割が地域経済への影響を懸念。
- ⑦ エリア内で特に中東情勢の影響を受けそうな業種は、「建設業」が 79.5%と最も高く、塗料や接着剤、建材等で価格高騰や供給制約が顕在化しているとの声がある。次いで「プラスチック製品製造業」が 76.9%。石油由来製品を扱う業種への影響拡大が懸念されている。

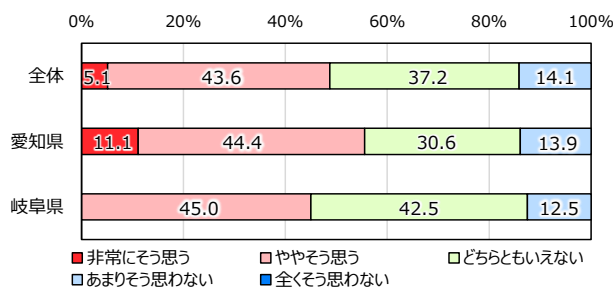
① 中東情勢の影響に対し、取引先企業の間で警戒感が高まっている



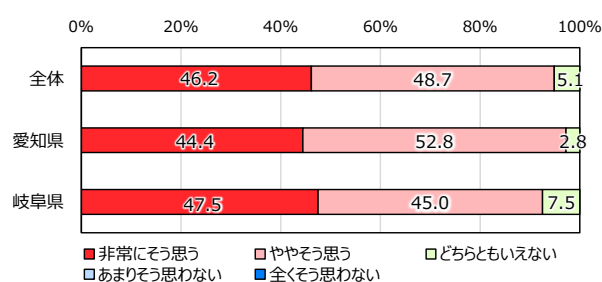
② 中東情勢の影響を受ける可能性のある業種から仕入価格や資金繰りに関する相談が増えている



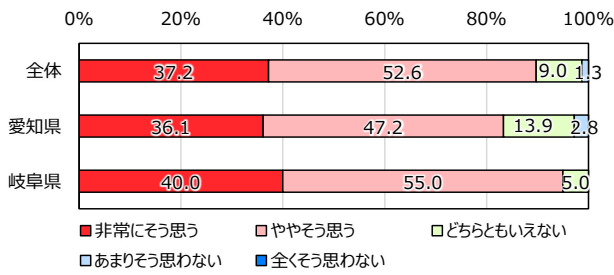
③ 中東情勢の影響をきっかけに調達先見直しや経営戦略の再検討の動きが出てきている



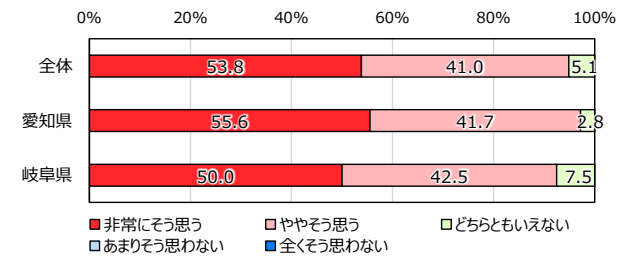
④ 中東情勢の影響を受け、製品の受注・売上減少への懸念が高まっている



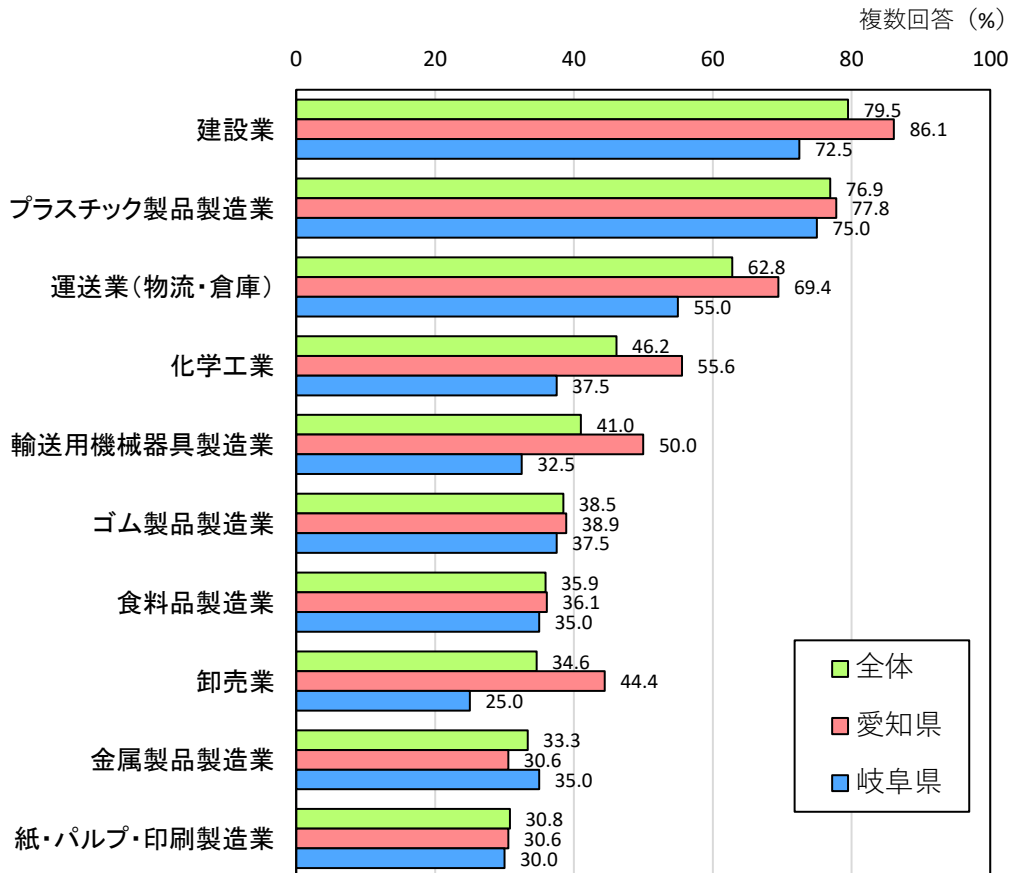
⑤ 国際情勢の変化による調達コストや物流の不安も課題となりつつある



⑥ 今後の中東情勢や国際情勢の変化が地域経済に影響する懸念がある



⑦ エリア内で特に中東情勢の影響を受けそうな業種(上位 10 業種)

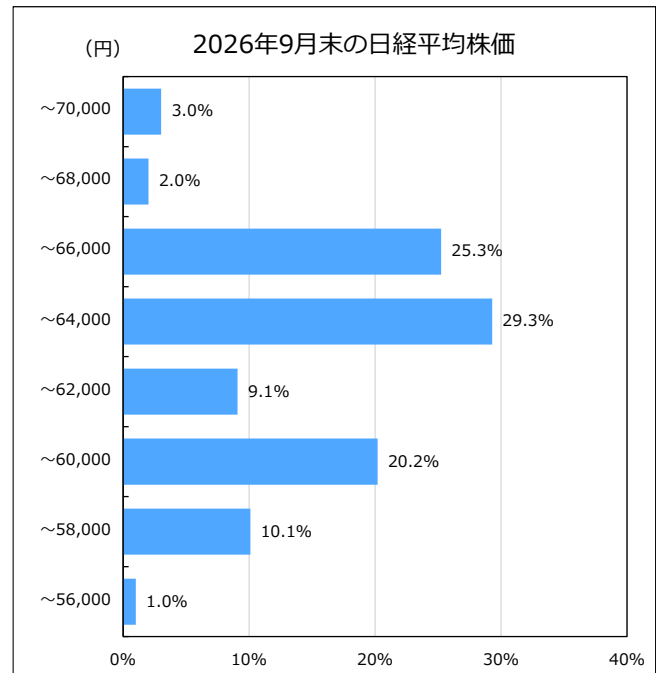
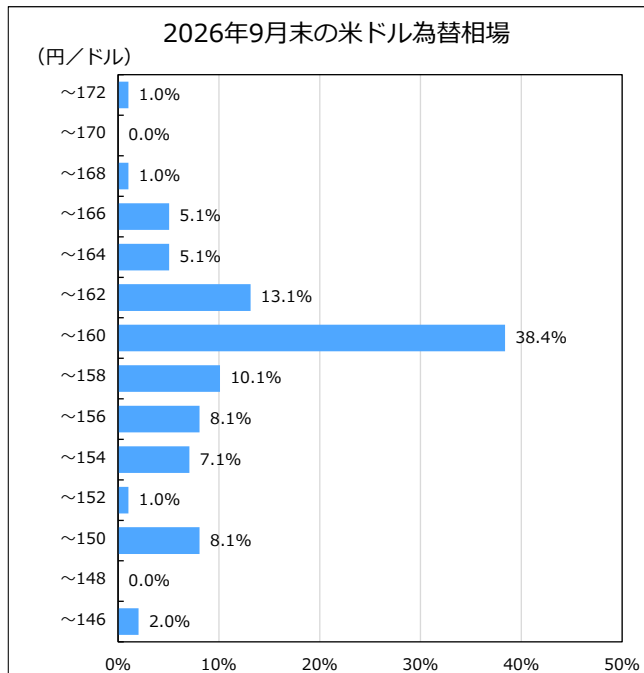


## 追加調査 2

# 「2026年9月末の米ドル為替相場・日経平均株価」

2026年9月末の相場予想の平均は、中東情勢の長期化を背景に円安基調が続くとの見方から、米ドル為替相場は1ドル=158.25円となった。日経平均株価の予想平均は62,411円だった。

2026年9月末の為替・株式の予想を尋ねたところ、米ドル為替相場の予想平均は1ドル=158.25円、日経平均株価の予想平均は62,411円だった。米ドル為替相場は、為替介入による影響は一時的にとどまり、中東情勢の長期化を背景に円安基調が続くとの見方から、158円超160円以下を予想する声が多い。日経平均株価は、中東情勢の不透明感はあるも半導体やAI関連銘柄が好調であることから、58,000円超66,000円以下を予想する声が多い。



2026年9月末の米ドル為替相場 (円/ドル)

	全体	愛知	岐阜
平均値	158.25	158.10	158.42
最大値	170.10	165.00	170.10
最小値	145.10	145.45	145.10
最頻値	160.00	158.00	160.00
中央値	159.50	159.00	160.00

(ご参考)

2026年5月相場 (円/ドル)	
月中高値	159.65
月中安値	155.02
月末時点	159.26

出所：LSEG

### ・予想コメント

円安要因 (一部抜粋)
・日本の財政拡張方針の継続
・中東情勢の長期化
・日米金利差の拡大
・米国のインフレ懸念による利上げ
円高要因 (一部抜粋)
・日米金利差の縮小
・中東情勢の落ち着き
・日銀の利上げ
・為替介入

2026年9月末の日経平均株価 (円)

	全体	愛知	岐阜
平均値	62,411	62,203	62,683
最大値	70,000	70,000	70,000
最小値	55,000	55,000	57,000
最頻値	65,000	65,000	63,000
中央値	63,000	62,585	63,000

(ご参考)

2026年5月相場 (円)	
月中高値	66,505.02
月中安値	59,263.50
月末時点	66,329.50

出所：LSEG

### ・予想コメント

上昇要因 (一部抜粋)
・半導体やAI関連企業を中心とした業績拡大
・中東情勢の一服
・円安基調の継続
・輸出企業の業績好調維持
下落要因 (一部抜粋)
・中東情勢の長期化
・企業業績見通しの悪化
・一旦の調整局面入り
・景気の冷え込み

以上